

平成29年度(30年3月期) 中間決算の概要

平成29年11月10日



大光銀行

目 次

I. 平成29年度(30年3月期)中間決算の概要	
1. 損益状況	
(1) 実質業務純益・コア業務純益	1
(2) 経常利益	2
(3) 中間純利益	3
2. 業務計数	
(1) 貸出金	4
(2) 預金等・預り資産	5
3. 不良債権	6
4. 自己資本比率	7
II. 平成29年度(30年3月期)業績予想	8

※本資料の前年同期比・増減率欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

I. 平成29年度(30年3月期)中間決算の概要

1. 損益状況

(1) 実質業務純益・コア業務純益

○実質業務純益は、前年同期比2億5百万円減少し、23億20百万円。

役務取引等利益や国債等債券関係損益は増加したが、資金利益の減少や経費の増加などにより前年同期比で減益となった。

○コア業務純益は、前年同期比4億91百万円減少し、16億19百万円。

(単位：百万円)

項目	29年9月期 (A)	28年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質業務純益	2,320	2,525	△ 205
コア業務純益	1,619	2,110	△ 491

実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益

【実質業務純益の変動要因】

○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	29年9月期 (A)	28年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
役務取引等利益	298	264	34
国債等債券関係損益	700	414	286

○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	29年9月期 (A)	28年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益	7,805	8,010	△ 205
経費	6,469	6,292	177
金融派生商品損益	△ 26	132	△ 158

<参考> 資金利益の変動内訳

(単位：百万円)

項目	29年9月期	28年9月期	前年同期比
預貸差利益 ① (② - ③)	5,802	6,053	△ 251
貸出金利息 ②	6,058	6,344	△ 286
預金等利息 (※) ③	255	290	△ 35
有価証券利息配当金 ④	1,990	1,987	3
その他 ⑤	13	△ 30	43
資金利益 ① + ④ + ⑤	7,805	8,010	△ 205

(※) 預金等利息 = 預金利息 + 譲渡性預金利息

(2) 経常利益

- 経常利益は、前年同期比3億88百万円増加し、28億10百万円。
 実質与信関係費用のマイナス幅が拡大したことなどにより、前年同期比で増益となった。

(単位：百万円)

項目	29年9月期 (A)	28年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
経常利益	2,810	2,422	388

【経常利益の変動要因】

○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	29年9月期 (A)	28年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用	△ 557	△ 46	△ 511
株式等関係損益	71	28	43

○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	29年9月期 (A)	28年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質業務純益	2,320	2,525	△ 205

<参考>実質与信関係費用の変動内訳

(単位：百万円)

項目	29年9月期 (A)	28年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	△ 557	△ 46	△ 511
①一般貸倒引当金繰入額	-	-	-
②不良債権処理額	120	241	△ 121
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-
うち貸出金償却	120	188	△ 68
うち偶発損失引当金繰入額	-	53	△ 53
③貸倒引当金戻入益	(△) 516	155	361
④偶発損失引当金戻入益	(△) 19	-	19
⑤償却債権取立益	(△) 142	132	10

(3) 中間純利益

○中間純利益は、前年同期比3億15百万円増加し、20億49百万円。

【平成29年9月期の損益状況（単体）】

（単位：百万円）

項目	29年9月期 (A)	28年9月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
業務粗利益	8,790	8,818	△ 28
コア業務粗利益	8,089	8,403	△ 314
経費	6,469	6,292	177
実質業務純益	2,320	2,525	△ 205
コア業務純益	1,619	2,110	△ 491
経常利益	2,810	2,422	388
(経常収益)	10,875	10,925	△ 50
(経常費用)	8,065	8,502	△ 437
特別損益	△ 57	△ 9	△ 48
税引前中間純利益	2,752	2,413	339
税金費用	703	679	24
中間純利益	2,049	1,734	315

コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益

コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

2. 業務計数

(1) 貸出金

○貸出金残高は、前年同期比278億円(2.8%)増加し、1兆55億円。

目標としていた貸出金1兆円を突破。

中小企業向け貸出を中心に事業者向け貸出が増加したほか、
住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加した。

(単位：億円)

項目	29年9月末 (A)	28年9月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
貸出金残高	10,055	9,777	278	2.8 %
事業者向け貸出	5,901	5,712	189	3.3 %
個人向け貸出 (消費者ローン)	2,855	2,777	78	2.8 %
うち住宅ローン	2,657	2,589	68	2.6 %
地公体向け貸出	1,298	1,286	12	0.9 %

(2) 預金等・預り資産

○預金等残高は、前年同期比222億円(1.6%)増加し、1兆3,476億円。

個人・法人預金ともに増加した。

○預り資産残高は、前年同期比54億円(4.4%)増加し、1,271億円。

公共債は減少したが、生命保険および投資信託が増加した。

(単位：億円)

項目	29年9月末 (A)	28年9月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預金等残高(※)	13,476	13,254	222	1.6%
うち個人	9,563	9,430	133	1.4%
うち法人	2,977	2,891	86	2.9%

(※) 預金等残高 = 預金残高 + 譲渡性預金残高

(単位：億円)

項目	29年9月末 (A)	28年9月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預り資産残高	1,271	1,217	54	4.4%
投資信託	407	379	28	7.3%
公共債	176	219	△43	△19.6%
生命保険	687	618	69	11.1%

3. 不良債権

○不良債権額(金融再生法)は、29年3月末より24億円減少し、239億円。

経営改善支援に積極的に取り組み、危険債権が18億円減少した。

○不良債権比率は、29年3月末比0.28ポイント低下し、2.37%。

(単位：億円)

項 目		29年9月末			29年3月末	28年9月末
			29年3月末比	28年9月末比		
金融再生法開示債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	50	△ 3	△ 6	53	56
	破綻先債権	6	△ 1	△ 1	7	7
	実質破綻先債権	43	△ 3	△ 6	46	49
	危険債権	180	△ 18	△ 20	198	200
	要管理債権	8	△ 4	△ 2	12	10
	小計 (A)	239	△ 24	△ 28	263	267
	正常債権	9,888	187	305	9,701	9,583
債権額合計 (B)	10,128	163	277	9,965	9,851	
不良債権比率 (A)/(B)	2.37 %	△ 0.28 <small>ポイント</small>	△ 0.35 <small>ポイント</small>	2.65 %	2.72 %	

4. 自己資本比率

○自己資本比率は、単体が29年3月末より0.04ポイント低下し、9.65%、
連結が同0.02ポイント低下し、9.65%。

積極的な営業推進による貸出金の増加などにより、リスク・アセットが増加した。

○単体・連結のいずれも規制値(4%)を大きく上回っており、十分な水準。

(単位：億円)

項 目		29年9月末			29年3月末	28年9月末
			29年3月末比	28年9月末比		
単 体	自己資本比率	9.65 %	△ 0.04 <small>ポ イ ン ト</small>	△ 0.92 <small>ポ イ ン ト</small>	9.69 %	10.57 %
	自己資本額	706	16	△ 25	690	731
	リスク・アセット	7,311	190	390	7,121	6,921
連 結	自己資本比率	9.65 %	△ 0.02 <small>ポ イ ン ト</small>	△ 0.91 <small>ポ イ ン ト</small>	9.67 %	10.56 %
	自己資本額	707	16	△ 26	691	733
	リスク・アセット	7,334	189	389	7,145	6,945

II. 平成29年度(30年3月期)業績予想

(単位：百万円)

項 目	通期 (30年3月期)	
	連 結	
		う ち 単 体
経 常 利 益	4,330	4,280
当 期 純 利 益	3,030	3,000

※連結の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益であります。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。